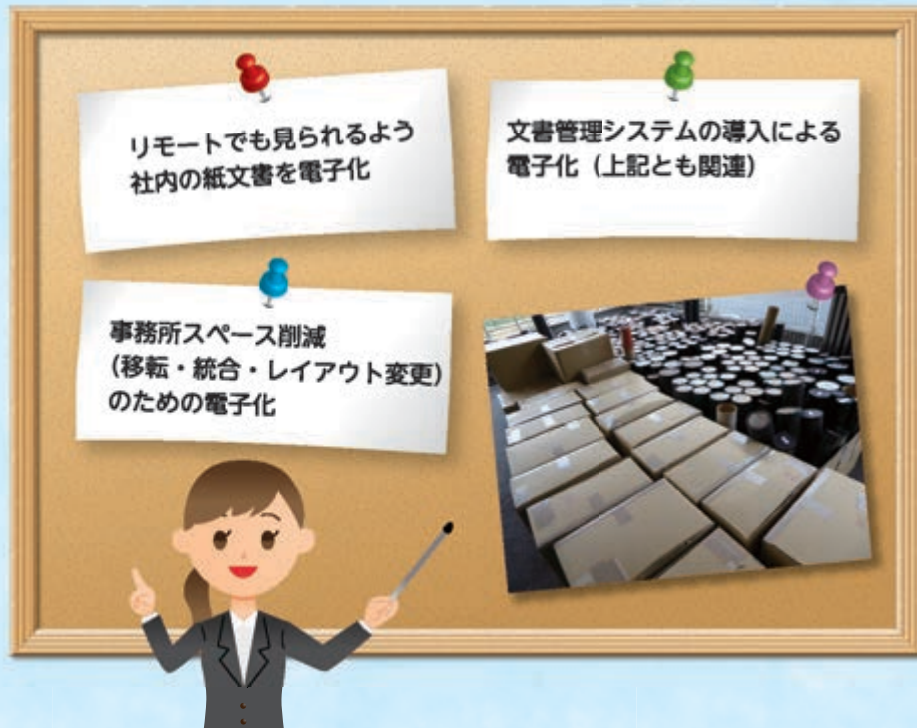


# 最近のスキヤニング事例から

概要

先月はいわゆる年度末で、今年も様々なスキヤニング（電子化）案件をさせていただきました。今年の事例で多かったのが、広い意味でのテレワーク対応。つまり、テレワークができるよう社内の紙文書を電子化し、リモートで見られるようにすることと、テレワークの常態化によりオフィススペースを削減するために紙文書量を減らすための電子化です。しばらくはこの傾向は続きそうな状況です。



株式会社 宏和

Kowa Corporation

東大阪市長田東 1-7-22 TEL 06-6789-2313 FAX 06-6789-2339

<https://www.d-kowa.co.jp/>

<https://scanning.jp/>

オンデマンド印刷 会社案内、パンフレット、チラシ、名刺、カード、封筒、シール、伝票、表彰状  
冊子印刷 取扱説明書、カタログ、記念誌、広報誌、報告書、論文、自分史  
電子化業務 紙文書・紙図面スキヤニング(電子化)サービス、データエントリー(入力)、データコンバート  
CAD業務 CADデータ出力、CADデータ入力(トレース・設計)、電子納品データ作成  
コピー・製本 大判コピー、カラーコピー、各種製本、ラミネート、パネル・看板制作  
その他 人材派遣、人材紹介、マイクロ撮影、マイクロフィルムスキヤニング、WEB制作

(株)宏和が毎月お客様へお役立ち情報をお届けします。

# コウワ/ワ

## MONTHLY NEWS LETTER Vol.67

2021

4  
April

コウワ/ワ

4

Vol.67

発行者：株式会社宏和  
所在地：〒577-0012 東大阪市長田東 1-7-22

TEL 06-6789-2313

(株)宏和



コロナ禍になって約1年、振り返ってみると日々の生活は大きく変わりました。マスクは常態化、飲み会は激減、支払はキャッシュレス、休日はウォーキング…。新たな発見もありますが、対面でのコミュニケーションが減ると、どうしても入ってくる情報が偏ってしまうように思います。まだまだ続きそうなこの状況、しなやかに乗り切っていきたいものです。

代表取締役 日笠宏昭



# 大阪レトロ建築物巡り Part2

大阪各地

Part2

今月は先月に続いて大阪のレトロ建築物特集です。気候も良くなり、たまには大阪の街をブラブラ歩いてみてはいかがでしょうか。その際の参考にどうぞ。



**大阪市中央公会堂**  
北区中之島1-1-27  
1918(大正7)年に竣工、設計は辰野金吾・片岡安。2002(平成14)年保存・再生工事が完了し美しく甦った大阪市中央公会堂は、中之島の景観に欠かせない美しい外観と内部意匠が歴史的建築物として極めて重要であるとの高い評価を受け国の重要文化財に指定されました。



**大阪府立中之島図書館**  
北区中之島1-2-10  
1904(明治37)年、住友家の第15代住友友吉左衛門友純(ともい)が図書館建物と図書購入資金を寄贈したことによって建設された図書館。1922(大正11)年には、左右両翼部分も増築(国の重要文化財)されました。石造り三層、銅葺きのドームがそびえる厚重な建物で、建築を担当したのは建築家・野村胡堂と日高群。



**日本銀行大阪支店旧館**  
北区中之島2-1-45  
1903(明治36)年にベルギー国立銀行をモデルに建設された、緑青の色が美しい円屋根をもつ石造りの2階建て本格的洋風建築です。設計は東京駅舎や中央公会堂を手掛けた辰野金吾らによります。予約すれば、旧館の内部や新館の営業室などを見学することができます。



**泉布観**  
北区天満橋1-1-1  
国道を挟んで大阪造幣局と隣接する泉布観は、1871(明治4)年、創業当初の造幣局の応接所として建てられました。設計は英国人技師・ウォートルス。白い漆喰塗りの壁が美しい2階建ての建物は総煉瓦造りで、周囲にベランダを巡らせた「ヴェランダ・コロニアル」様式。「泉布」は貨幣、「観」は館を意味し、明治天皇が自ら命名したものです。



**旧桜宮公会堂**  
北区天満橋1-1-1  
1933(昭和8)年竣工、旧造幣寮の正面玄関を移築して作られた建物で重要文化財にも指定された大阪最古の建築物の内観をリノベーションして2013年に結婚式場・レストランとしてオープン。明治天皇記念館としても使用され、入口には当時の金庫も展示されています。泉布観の隣です。



**大江ビルヂング**  
北区西天満2-8-1  
1921(大正10)年に大江という弁護士が建てたテナントビルです。大阪高等裁判所に近いことから、法律家向けのテナントビルで現在も法律事務所が多く入っていますが、最近ではギャラリーやショップも増えたようです。



**大阪倶楽部**  
中央区今橋4-4-1  
竣工は1924(大正13)年、大阪財界人のクラブとして80年以上利用されつづけています。設計は安井武雄で、細部装飾にはインドやイスラムの影響が見られます。館内は、扉・梁・棚などすべてが木製で、深みのある色で統一されています。



**芝川ビル**  
中央区伏見町3-3-3  
1927(昭和2)年竣工。船場の豪商・芝川家6代目当主の芝川四郎が建設。耐震・耐火性に心を砕いた頑強な造りで、古代中南米風の装飾が随所に見られる独特な趣向が目立ちます。現在は魅力的な店舗が入居し、大阪を代表する近代建築のひとつとして活用されています。



**淀屋橋**  
北区中之島1丁目~中央区北浜3丁目間  
初代の橋は江戸時代、当時日本一の材木商だった淀屋によって架けられた、橋長約65m/幅員約4mのものです。橋名は、その淀屋にちなんでつけられました。現在の橋は昭和1935(昭和10)年に完成したもので、デザインが優れ周辺の環境とも調和しています。



**フジハラビル**  
北区天神橋1-10-4  
1923(大正12)年の建築。外壁は味わい深い茶色のスクラッチタイルで、地下1階、地上4階。長窓を配し、中央部に巨大なアーチを装飾的に置いた印象的な外観です。現在はアートギャラリーとして演劇や音楽などのアート活動の拠点となっています。



**ダコタハウス**  
西区江戸堀1-23-30  
大正末期~昭和初期に建てられたネオロマネスク様式のビルです。シンメトリーを崩した左右非対称のファサードに、庇を互い違いにして変化をもたせています。現在、レストランやバーが入っています。



**長瀬産業本館ビル**  
西区新町1-1-17  
1928(昭和3)年竣工で、設計は初代の通天閣を設計した設楽建築工務所。1982年に右側の新館が建設されましたが、旧館はほとんど外観を変えずに残っています。正面のバルコニーとアーチ型の窓が印象的なビルです。



**大阪森林会館**  
中央区南船場3-2-6  
1930(昭和5)年、三菱商事大阪支店として三菱地所が設計し建築されました。戦後、農林省関係のビルとなり現在の名称になりました。現在は、高い天井や重厚なデザインの内装を活かしたスタイリッシュなショップが集まるビルとなっています。



**原田産業(株)大阪本社ビル**  
中央区南船場2-10-14  
1928(昭和3)年竣工の建物で、船場に典型的な間口の狭い敷地に建つ2階建ての洋館となっています。左右対称をわざと崩したデザインや重厚なエンタランス、バルコニーを持つ大きなガラスの開口部が特徴的です。



**堺筋倶楽部**  
中央区南船場1-15-12  
1931(昭和6)年に川崎貯蓄銀行大阪支店として建てられたものです。当時の銀行建築らしく、重厚感のある切石と左右対称の外観が特徴的で、正面玄関上部の柱が並ぶ装飾は、ルネサンス様式を思わせるデザインです。現在は結婚式もできるレストランになっています。



**細野ビルヂング**  
西区新町4-5-7  
1936(昭和11)年竣工。「細野組」の元本社。竣工当時は白タイルの外壁に覆われたモダンな建物でした。西区役所・西警察の東隣にあり、イベントや展示会スペースとして利用されているようですが、コロナの影響が現在は使われていないようです。



**ミナミ株式会社**  
福島区福島5-17-7  
旧川崎貯蓄銀行福島出張所として1934(昭和9)年に竣工。建築家・矢部又吉により設計された西洋古典建築です。古代ギリシャの神殿やヨーロッパの古い街並を思わせる壮麗な建物です。現在はカットソーテキスタイルの販売、企画、製造をおこなうミナミ株式会社です。



**メリヤス(美大小)会館**  
福島区福島3-1-39  
大阪輸出莫大小工業組合が1929(昭和4)年に組合のビルを建築。設計は宗兵衛の宗建築事務所。戦後、メリヤス会社の多くが戦災に合い、組合の存続が困難となったためテナントビルとなりました。